

アジア原子力協力フォーラム(FNCA)
第 25 回大臣級会合
FNCA の活動方針に関する共同コミュニケ【仮訳】
2024 年 12 月 19 日(於、東京)採択

我々、FNCA参加国であるバングラデシュ人民共和国、中華人民共和国、インドネシア共和国、日本、カザフスタン共和国、大韓民国、マレーシア、モンゴル国、フィリピン共和国、タイ王国及びベトナム社会主義共和国の代表は、

積極的な地域のパートナーシップを通じて、原子力技術の平和的で安全な利用を進め、地域の社会的・経済的発展を促進するとともに、加盟国の社会的・経済的充実に繋がる研究開発、知識と情報の共有及び能力の構築が、とりわけFNCAの主要な役割と活動目的であることを想起し、

持続可能な農業発展、食品安全、環境に配慮した工業開発、放射線治療、気候変動への影響軽減、自然生態系保護などの分野における放射線利用や関連する FNCA のプロジェクトの価値を認め、

原子力エネルギーには潜在的価値があり、エネルギーミックスに関する解決策や、温室効果ガスの排出削減及び/又は回避に寄与する可能性があることに注目し、

原子力科学技術分野及び放射線利用分野における必要な人材確保の重要性、ジェンダーバランス及びジェンダー平等を促進すること並びに若年層/多様な専門家等を惹きつけることを通じて知識を継承することの重要性を認識し、

今年、再開された FNCA 賞受賞者らの際立った功績を称え、

2024スタディ・パネルにおける「医療用放射性同位元素(RI)の製造と需要」の討議を通じて再認識された、加盟国における医療用放射性同位元素の製造及び配布における課題と改善の必要性を認め、

大臣級会合での議論を通じて、創設25周年を迎えた FNCA が、加盟国の「食と健康」の向上に貢献してきたことの意義を共有し、また、加盟国が協力して記念行事を開催したことを確認し、

シンガポールが FNCA に正式に加盟国となったこと及び同国が 2025 年から FNCA プロジェクト活動に参加することを歓迎し、

2023 年 6 月のスタディ・パネル(SP)における「SMR を含む次世代炉の展望」及び 2024 年 10 月の次世代炉オンライン・セミナー「SMR を含む次世代炉の設計コンセプトとユーザー

要求」に関する議論を通して再認識された、当該分野における加盟国間の連携強化の必要性を認め、

FNCA と、IAEA、OECD/NEA、IFNEC等の原子力関連国際機関・政府間機関との連携の重要性を認識し、これらの機関との連携/協働の可能性を視野に入れることに合意し、

次のことに取り組むことを決定した。

1. 持続可能な農業の発展と食品安全、環境保護、医療と健康、及び原子力安全・セキュリティ文化

現在進めているプロジェクトを継続・拡大させて、持続可能な農業の発展と食品安全、環境保護、アジア地域における放射線を利用した緩和治療を含むがん治療への取組、及び原子力安全・セキュリティ文化のための基盤開発に関連する原子力科学・技術、放射線利用の応用分野における活動を引き続き行う。実行に際し、既存の研究開発分野を促進するとともに、将来を見据え、加盟国が幅広く関心を持ち、持続可能な発展に寄与する研究開発の分野を先取りして採択する。

2. 原子力科学・技術分野と放射線利用における人材育成の協力

各加盟国の必要性や状況に応じ、組織的な人材交流や人材基盤の充実に関する取組について、対面のセミナーやワークショップ、ウェビナーやオンラインワークショップ等を開催し、情報交換を促進させる。FNCA のプロジェクト及び活動への参加、リーダーシップ及び代表の多様性は重要である。加盟国は、労働力におけるジェンダーバランス及び世代の多様性の促進等を通じて、原子力科学・技術分野におけるジェンダー平等の達成を追求する。ジェンダーや年代など細分化されたデータを報告し実用に役立てる。

3. 研究成果の普及

加盟国に対して、放射線育種、放射線加工、研究炉利用、アイソトープ製造及び中性子放射化分析等、原子力利用に関するプロジェクトの成果を、加盟国の社会的・経済的な充実に、より効果的な貢献ができる商業化の可能性も考慮しつつ、最終ユーザーによる利用を促進することを引き続き奨励する。

4. SMR を含む次世代炉に関する情報共有

2023 年のスタディ・パネル(SP)「SMR を含む次世代炉の展望」及び 2024 年の次世代炉オンライン・セミナー「SMR を含む次世代炉の設計コンセプトとユーザー要求」に関する議論に基づき、加盟国は関連する課題の情報交換を促進する。また、次世代炉の開発状況を加盟国間で共有するため、技術面、安全面、経済面に関する可能性と展望についての情報交換を重視する。

5. その他促進すべき分野と活動

加盟国全般で優先度の高い、持続的農業の発展と食品安全、環境保護、医療、及び核の安全と保全文化のための基盤開発に関連する原子力科学・技術の応用分野における活動を拡大する。これに際しては、現存の研究開発分野を促進するとともに、加盟国が幅広く関心を持ち、持続可能な発展に寄与する研究開発の将来的分野を積極的に採択する。

6. パブリック・コミュニケーション及び広報機能の拡大

加盟国及びアジア地域における原子力科学・技術に対する国民の信頼の構築に引き続き取り組む。また、FNCA のウェブサイトや加盟国で開催される公開講座等を通じた広報機能の拡大に努める。

7. 関連国際機関・政府間機関との協力強化

FNCA プロジェクトとのシナジー効果が期待できる分野について、IAEA、OECD/NEA、IFNEC 等の関係国際機関・政府間機関との連携を強化する。

例えば、FNCA の関連プロジェクトにより確立されるがん治療のプロトコルが、IAEA が立ち上げた「Rays of Hope」の枠組みにおいて十分に活用され得ることを期待し、「Rays of Hope」に関連した IAEA と FNCA との将来的な連携を模索する。